

## 第6回 ウィニーを介した情報流出問題と報道

07年5月29日

毎日新聞大阪本社社会部副部長

砂間 裕之

■ウィニーとは 図、ことば参照

■一連の流出 <最初はうっかりミス、その後は暴露ウイルス> 年表参照

### ① ミスによる流出

04年に陸自訓練計画や、京都府警、北海道警の捜査関係書類など

### ② 新種の暴露ウイルス登場 (05年3月に確認)

東京医科歯科大病院の患者の個人情報流出、九州電力川内原発や、北海道電力泊原発2号機の定期検査報告書など商用機密。

### ③ 海自、警察、あらゆる企業、米軍、そして2次被害も

06年2月23日に「海自機密 ネット流出」が発覚。その後、岡山、愛媛両県警の捜査資料の流出。さらに、ジャスダック資料▽北海道斜里町の住基ネット情報▽米軍三沢基地の通行許可データ——などが表面化。

■なぜ詳しく報道しなければならなかったか ～岡山県警の事例

プライバシーを理由に真実を隠ぺいする防衛庁や警察。深刻な流出情報の内容を報じることで、責任の所在を明らかにした。

■報道の意義

- ・ 社会の透明性を図る
- ・ 国民の知る権利に奉仕
- ・ 再発防止 (ネット社会の危険性に警鐘)
- ・ 世の中を動かした側面 (公費でパソコン配備、情報漏えい対策予算)

■情報入手の方法と、その情報内容のすごさ

通常取材とどこが違うのか

## ■ウィニーを巡る主な流出被害

04年3月	京都府警の捜査書類流出 北海道警の捜査書類流出 <その他> 陸自の訓練計画 公安調査庁約600人の自宅住所 東京のエステサロン5万人分顧客名簿 愛知県郵便局の誤配リスト
5月10日	ウィニー開発者を京都府警が逮捕
5月12日	東京都などの公衆電話番号が流出
05年3月29日	東京医科歯科大病院の患者情報
3月	新種の暴露ウイルス確認
4月1日	鳥取赤十字病院で60人分の電子カルテ
4月8日	鳥取大病院でも175人分の電子カルテ
4月15日	秋田県湯沢市の市民名簿1万人分
6月2日	愛知一宮市の小学校の名簿流出
6月23日	原発の商業機密情報が流出
06年2月23日	海上自衛隊機密 ネット流出
3月4日	岡山県警 捜査資料が流出
3月7日	愛媛県警でも流出
3月19日	ジャスダック資料流出
3月29日	北海道斜里町の住基ネット情報流出
3月30日	ニフティが利用制限方針
4月4日	北海道武蔵女子短大の合否名簿が流出
4月6日	13万人分 名簿流出 ウィニー過去最大
4月11日	8100人個人情報流出 名古屋の広告会社
4月13日	通行許可データ流出 米軍三沢基地
4月14日	口利き依頼文書流出 大分の工事入札
4月22日	皇太子ご夫妻の経路流出 阪高巡回委託先文書から
5月1日	ウィニー流出 HPで公表 民間8割 官は2割
5月7日	Share情報流出1000件
5月8日	陸自が暴徒鎮圧訓練 米海兵隊が指導
5月12日	陸自ミサイル資料流出 再発防止策報告後
6月30日	ウィニー悪用 初の逮捕